新潟県小千谷市
観光ガイド

ゆっくり、のんびり、しっとり

おぢや路

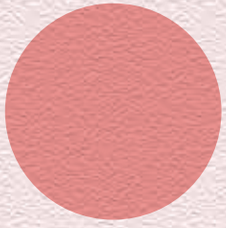
質の良い時間を愉しむ大人旅ガイド

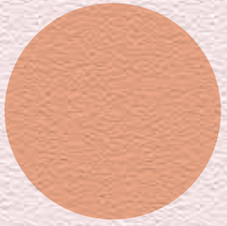
企画／小千谷市商工観光課　制作／大川印刷

◎ お問い合わせ ◎

小千谷市観光案内所
〒947-0028 新潟県小千谷市城内1丁目8番25号 サンプラザ内
tel.0258-83-4800
fax.0258-82-1330
E-mail　info@ojiyasunplaza.jp
http://www.ojiyasunplaza.jp

小千谷市商工観光課・小千谷観光協会
〒947-8501 新潟県小千谷市城内2丁目7番5号
tel.0258-83-3512　fax.0258-83-0871
E-mail　kanko@city.ojiya.niigata.jp
小千谷市ホームページ
http://www.city.ojiya.niigata.jp
小千谷観光協会ホームページ
http://www.ojiyakanko.com





山あり河あり
暁と夕日とが
綴れ織る
この美しき野に
しばし遊ぶは
永遠にめぐる
地上に残る
偉大な歴史

西脇順三郎

大きく蛇行する大河を感じながら、自然と史跡、
名所と名産、そして、温かな人に出会える
小千谷の旅路。

四季

春の花、夏の祭り、秋の収穫、冬の縮
小千谷には、濃くて
優しい季節の色が移ろう

歴史

たくさんの困難を皆で乗り越えてきた
人々の暮らしのそばに信仰がある

佳景

山が終わり、平野が開ける
見逃せない絶景が大河に映る

名所・銘品

牛の角突き、小千谷縮・紬、錦鯉、
世界一の大花火、
どこにも真似できない小千谷の宝もの

ゆっくり、のんびり、しっとり

おぢや路 *contents*

3 四季便り ～美しき野～ 11 おすすめ観光コース<おぢやの歴史を見る!> 13 おすすめ観光コース<おぢやの宝ものを見る!> 15 おぢや 歴史と伝統 其の一<礎> 17 おぢや 歴史と伝統 其の二<信仰> 19 おぢや 歴史と伝統 其の三<水辺の言い伝え> 21 おぢや佳景 25 小千谷偉人伝 26 滞在型農園「おぢやクラインガルテン」 27 日帰り温泉ガイド 29 真っ正直な味 小千谷の逸品 31 伝統を織り続ける 小千谷の特産品 33 おぢやイベント・見ごろ食べごろカレンダー 35 おぢや観光イラストマップ 37 アクセスと問い合わせ先一覧

東山地区／牛の角突き　MAP E−2

おぢや春模様

四季だより ～美しき野～

色とりどりの春の花、水を湛えた棚田、鳴きはじめたばかりの小鳥のさえずり、牛の角突きが始まれば春真っ盛り。

山本山高原／菜の花　MAP C−4

船岡公園／夜桜　MAP B−3

城山/カタクリ　MAP A−3

見渡す限りの白い世界が、
足もとから少しずつ春色に変わってゆく。
雪どけの頃に縮市が開かれていたのは、遠い昔。

雪が溶ける頃、“すだれあき”と呼ぶ市開きが行われました。冬の間、丹精込めて織った縮を売りに出すのです。全国から縮を求めて訪れた人々も、小千谷の人々も、4月になればカタクリ、菜の花、桜の花を愛で、5月の牛の角突きを楽しみにしたことでしょう。春の風物詩は今も変わらずここにあります。

おぢやまつり／大花火大会　MAP C−3

山本山／ひまわり畑　MAP C−4

おぢやまつり　MAP B−3

おぢや夏便り

**まぶしかった青い空が高くなりはじめる頃、
幾重にも重なる人の輪と歓声と、夜を染める色彩の妙と共に、
夏まつりが始まる。**

四季だより
～美しき野～

遠く離れていても、笑顔が集まる祭りの日。
小千谷の技・伝統・美がいっせいに開花する。

おぢやまつりは、8月下旬の金～日曜日に盛大に開催される。1日目は、「民踊流し」や「仮装盆踊り」。2日目は「からくり万灯パレード」と「大花火大会」。市民の募金で打ち上げる「超ワイドベスビアス大スターマイン」の迫力は必見。3日目は「おまつり広場」「闘牛パレード」「からくり万灯パレード」「市民総参加盆踊り」が行われます。

<二荒神社祭礼>
毎年7月13日～15日二荒神社（本町）で開催。山の神（天狗）・牡獅子・牝獅子・子獅子が舞う「豊年獅子舞」と、平成20年に新潟県指定文化財となった「巫女爺（みこじい）人形繰り」が披露されます。

二荒神社祭礼／巫女爺人形操り　MAP B−3

二荒神社祭礼／豊年獅子舞　MAP B−3

片貝町／世界一「四尺玉」 MAP A−1

外之沢／棚田 MAP C−5

おぢや秋日和

四季だより
～美しき野～

若緑の葉に映えて白い小花が咲く。
茎が赤くなれば収穫はもうすぐです。
素朴なそばの花もまた、
世界一の花火に負けない小千谷の花。

山本山／そばの花 MAP C−4

片貝町／片貝まつり MAP A−1

市内各所／はざ木

そこに暮らす人の祈りや願いを込めて夜空に咲く大輪の花。

毎年9月9日･10日浅原神社秋季例大祭で奉納されるのが、正四尺玉で全国に知られる片貝花火。片貝に暮らす人々は、結婚、出産、長寿の祝い、事業や地域の発展を願う等、人生の転機に花火を奉納します。故郷を出ても折にふれて花火を奉納し、祭りには戻ってくるほど、花火とは縁が切れることはありません。夏の間、若者を中心に子どもから年配者まで地域全体で、打ち上げ前の「玉送り」「筒引き」などの伝統行事をはじめとする祭りの準備に追われます。世界一大きい花火は、地域の強い絆から生まれているのです。そして片貝花火が終わる頃、そばの花が咲き稲刈りが始まります。

西中／風船一揆フライト会場　MAP B−3

雪さらし

おぢや 冬景色

野も山も雪、町さえ雪の下に覆われる。
小千谷の歴史は雪との闘いだった。
けれど、雪さえ味方にして
小千谷は生きてきた。

四季だより
〜美しき野〜

市内各所／さいの神　　山谷・坪野地区／ほんやら洞まつり　MAP A−2

雪中に糸となし、雪中に織り、雪水にそそぎ、雪上にさらす。雪ありて縮あり。

江戸時代に出版された鈴木牧之「北越雪譜」の文中にあるように、小千谷縮は冬の湿気、清涼な水と雪を利用して作られる織物。その技術は国の重要無形文化財に指定されています。家に入るために掘るほど積もる雪も、小千谷の人々には恵みでもあるのです。また、五穀豊穣・無病息災を祈る「さいの神」は、地域ごとの真冬の楽しみのひとつで、古くから今に伝わる冬の一大行事。毎年1月15日前後に行われています。「風船一揆」や「ほんやら洞まつり」など、雪国の魅力溢れる小千谷らしい催しも年々人気が高まっています。

おぢやの歴史　を見る！

おすすめ観光コース

今日のコース

慈眼寺 → 約1km（徒歩15分） → 船岡公園（西軍墓地） → 約1km（徒歩15分） → 割烹「東忠」 → 約0.2km（徒歩2分） → 小千谷陣屋跡 → 約0.2km（徒歩2分） → 五智院

よし太くんの

小千谷を舞台に繰り広げられた激しい攻防の跡を辿ります！

【北越戊辰戦争と小千谷】

1868年（慶応4年）1月、鳥羽伏見の戦いで敗北したにも関わらず、幕府を支持する藩がまだ争っていました。奥羽越列藩同盟軍と新政府軍（＝西軍）との戦いが、日本を二分した北越戊辰戦争です。5月、「小千谷談判」が行われますが、会談は、30分ほどで終了。継之助は抗戦を決心することとなります。小千谷で火蓋が切られた北越戊辰戦争は、住民を巻き添えにした激戦となりました。

【西軍墓地】

一か所に墓地を集めたことで、江戸時代には山林であった場所が、蛇行する信濃川と越後三山などが見渡せる小千谷市を代表する公園として整備されました。今では、桜の名所として知られています。

1

慈眼寺 MAP B-3

武装中立を主張する長岡藩家老河井継之助と、新政府軍の若き軍人岩村精一郎が会談を行った会見の間が、今もそのまま残されています。

2

船岡公園（西軍墓地） MAP B-3

小千谷の人々は、遠く離れた異郷の地で亡くなった西軍東軍の戦死者を手厚く弔いました。1908年（明治41年）、西軍すべての墓をこの景勝の地に集めています。

3

割烹東忠（外観） MAP B-3

慈眼寺での会談決裂後、二見虎三郎と昼食をとった二階「梅の間」が現存している。小千谷にあった会津陣屋にも近かった。

4

小千谷陣屋跡 MAP B-3

陣屋の跡地には石碑が建ち、碑文から往事の賑わいを知ることができる。

5

五智院 MAP B-3

北越戊辰戦争後の疲弊しきった中、子どもたちの教育こそが最も重要と考え、誰もが学べる公の学校を五智院に作りました。

ドライブ気分で、もう少し足を伸ばして行って見たい、この2カ所！

司馬遼太郎「峠」文学碑 MAP C-2

「峠」の作者司馬遼太郎直筆の碑が、北越戊辰戦争の舞台となった榎峠と朝日山古戦場を見守るように建っています。

朝日山古戦場 MAP D-2

大砲小砲の音が間断なく響き渡ったという朝日山の山頂付近には、フランス式塹壕や野営場の跡が残っています。

陸路・水路・山路が交わる交通の要、小千谷は人が集まる、人に優しい町です。

おぢやの歴史案内人に訊く！

北越戊辰戦争の際、小千谷の町は戦火による消滅から逃れています。正確な戦況を知る情報収集力が高かったことで、進むべき道を誤らなかったとも言われています。古くから縮を求め全国から商人が訪れ、今の東京や大阪、名古屋など大都市との行き来も盛んだったので、情報が集まりやすかったのだと思います。その後、残った町ができることとして、瓦礫の山と化した長岡藩の孤児達を受け入れ、生活と教育の場を提供しています。西軍（新政府軍）と東軍（奥羽越列藩同盟）の両方の戦死者を手厚く弔っていることなどは、小千谷の人情を伝えるとともに、私たちの誇りです。

小千谷人の気質に触れて欲しいです！

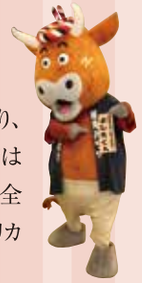
■プロフィール
小千谷観光協会の
大矢さんと蓬田さん。
歴史が彩る景勝地がいっぱい、
愛する小千谷のことならおまかせ！

おぢやの宝も　のを見る!

今日のコース

東山地区の養鯉池 → 約9km（車で25分） → 明石堂 → 約1km（徒歩10分） → サンプラザ → 約90m（徒歩1分） → 錦鯉の里

小千谷を代表する特産品「小千谷縮と錦鯉」を堪能する市街地を巡ります!



【錦鯉の歴史】

この地方で鯉を飼い始めたのがいつかははっきりしませんが、江戸時代中期の大干ばつに鯉を救うため、塩谷の仙竜池に放したと伝えられていることから、その頃にはすでに大量に飼われていた事がわかります。

また、江戸時代後期には緋鯉と白鯉の交配により今の錦鯉の原型が作り出されたと伝えられています。明治時代初期には「模様鯉」と呼ばれる鯉が出回るようになり、大正3年開催の大正博覧会では「越後の変わり鯉」と呼ばれて全国に広まり、大正14年にはアメリカに向けて輸出されました。

「錦鯉」という呼び名は昭和20年以降に広まり、今では海外でも「ニシキゴイ」と呼ばれ、世界中に輸出する産業として成長しました。

1 東山地区の養鯉池 MAP E-2

水のきれいなことで知られる東山地域で錦鯉は大切に育てられています。夕陽を映す野池の美しさは神秘的。

2 明石堂 MAP B-3

明石様と慕われていた堀次郎将俊の徳を忍び、極楽寺境内に小祠が建てられ、その後1848年（嘉永元年）に総欅造りの御堂が建てられました。

4 錦鯉の里 MAP B-3

サンプラザに隣接している「錦鯉の里」では、泳ぐ宝石の美しい姿をいつでも間近に観賞できます。観賞池では、錦鯉にえさ（100円）を与えることもできます!

20分程度の織物体験ができるよ!

3 サンプラザ MAP B-3

小千谷市の産業と観光の拠点。小千谷市の特産品を展示・販売しているほか、食事も楽しめます。

錦鯉の秘密を聞いて! 見た!

‘泳ぐ宝石’と呼ばれる錦鯉は、海外からも注目されています。

小千谷では、園児の遠足で「錦鯉の里」に訪れ、小学校の総合学習で錦鯉を取り上げるなど、子どもの頃から錦鯉を身近に感じる原産地です。「錦鯉の里」は、春から秋は美しい日本庭園の池、冬は快適に温度管理された屋内で一年を通して錦鯉の泳ぐ姿を楽しむことができます。「紅白」「大正三色（たいしょうさんけ）」「昭和三色（しょうわさんしょく）」と呼ぶ種類は、伝統的な色彩と斑紋の美しさで品評会でも人気。館内には260匹もの錦鯉がいますので、間近で餌をあげたりしながら、じっくり鑑賞してください。土産店や飲食店が揃うサンプラザが隣接しているので、観光の拠点としてご利用をおすすめします。

現在100種を超えるほどの種類があると言われ、錦鯉の里には約40種類が飼育されています。

ここで飼育される錦鯉のオーナー制度もあります!

■プロフィール
サンプラザ・錦鯉の里 マネージャー平沢さん
事前にお知らせ頂ければ、詳しくご案内いたします。

江戸期に生まれた小千谷縮、織物の町小千谷の歴史が始まる

“大きい家でも小さい家でも、民家は一軒残らず機織りの音のしない家はない”
『北越志』の一文は1800年、その頃の小千谷の活況を伝えている。
長い時が過ぎても、創始者堀次郎将俊への感謝と尊敬の想いは変わることはない。

雪さらし
冬の晴れた日、雪の上に織った生地を晒すことで、地の白さを際立たせる。

小千谷縮
小千谷縮は国の重要無形文化財でもあり、平成21年ユネスコ無形文化遺産に登録された。

小千谷の織物

麻は、青苧（あおそ）を原料にした日本で最も古くから用いられている繊維材料です。越後における麻布の生産は大変古く、奈良正倉院には1250年前に、租税として納められた麻布が残っています。堀次郎将俊は、横糸に強い撚りをかけてちぢませ、また紋様を織り込んだり、青苧の績み方、晒し方を工夫するなどして小千谷縮を完成させていったのです。いつしか小千谷縮は、夏向きの高級衣料として全国に知られるようになり、その技術を活かした絹織物小千谷紬が生まれました。

いざり織り
昔は、12歳頃から技を磨きはじめ嫁入りの必須条件だった。

明石堂 MAP B−3
向拝や鮮やかな彩色が施された内部は、「柳田の竜」で知られる柳田庄左衛門が心血を注いで完成させた見事な彫刻。
ご開帳は9月12日のみ。

お満ヶ池 MAP A−2
堀次郎将俊の妻・満が夫を助け布を晒したことからお満ヶ池と呼ぶようになった。

奉掛
良い縮が織れますようにと願い、生まれて初めて織った布を切った「奉掛」が納められている。

おぢや 歴史と伝統 其の一

堀次郎将俊

小千谷縮の生みの親は播州（兵庫県）明石の浪人堀次郎将俊。明石の人ということで明石次郎と呼ばれています。寛文年間（1661～1673年）に家族とともに小千谷にやってきました。苦労して完成させた製法を誰彼なく教えたため、小千谷縮は各地に広がりました。妻・満が夫を助け、布を晒したという「お満ヶ池」には記念碑が立てられています。次女・袈裟（けさ）は「越後おけさ」の名前に由来していると言われています。
［1620年（元和6年）生～1679年（延宝7年）没］

中世、戦国、
親から子へ教え継がれる信仰心

度重なる大洪水、大飢饉。長い歴史の中、貧しく力のない農民は、
神仏に祈り心の拠りどころとしてきました。小千谷市内には、
奈良時代に創建された五智院をはじめ、多くの寺社が伝えられています。

国指定重要文化財　MAP C−4

妙高寺・木造愛染明王坐像

川井地区妙高寺の本尊で、昭和25年に国の重要文化財に指定されました。1メートル19㎝、髪の毛を逆立て、三眼をみはり、六本の腕には五鈷（ごこ）・金剛矢・蓮華・金鈴・金剛弓の五つの法具を持ち、ひとつは拳を握っています。染物や織物関係者の信仰が厚く、縁結びの仏様としても有名です。毎月26日に愛染明王坐像のご開帳が行われます。

県指定文化財　MAP E−2

木喰上人作
三十三観音他二像

全国を旅しながら微笑仏と呼ばれる木造の仏様を彫り続けた木喰上人は1803年（享和3年）、85歳で二度目の越後を訪れ、小栗山観音堂で三十三体の観音像と行基菩薩・大黒天像を彫りました。人を喜ばせたいと願い、笑顔の仏様を彫り続けていた木喰上人はこの頃、ようやく自分でも満足できる微笑を彫ることが出来るようになったということです。ここには木喰上人の傑作が大切に守られ、毎月17日にご開帳が行われます。

おぢや 歴史と伝統 其の三

水辺の里山、小さな湧き水に宿る、雪国に伝わる不思議なものがたり

春の花、清らかな湧水、実る稲穂、降る雪にさえ感謝して暮らす雪国の人。村のあちらこちらに、自然の力に畏敬の念を抱きながら伝えてきた物語があります。

MAP B-3

魚沼神社 阿弥陀堂

室町時代永禄6年（1563年）に建てられたもので、国の重要文化財に指定されています。豪雪地帯の建築らしく軒は短く、縁も正面にしかないのが特徴です。魚沼神社は、戦国時代は上弥彦神社と呼ばれ、信仰心の厚い上杉謙信の戦を導いたということです。

MAP C-1

五辺の水辺

この地域は古くから洪水被害に悩まされた土地で、18世紀後半の大洪水では、立ち直るのに十数年かかったといわれています。洪水対策として妙見堰が建設されたことにより止水空間が生まれました。ビオトープ整備が進められ、さまざまな野鳥・昆虫・魚・植物が集まり、人々の集う憩いの空間になっています。

MAP A-4

郡殿の池

昔、「郡殿（こおりどん）」と呼ばれ敬われた郡司の館がありました。ある日、茶郷川を通った吉谷の池の主が郡殿の美しい姫をみそめ、立派な若者になって姫をお嫁にもらいに来ました。郡司は驚きましたが、あんなに想ってくれるならと姫はお嫁に行く決心をしたのです。気落ちした郡殿は郡司をやめ百姓になりましたが、そこの田圃は、日照りが続いても水枯れせず、大水があっても流されることはなく、決して枯れることのない池は「郡殿の池」と呼ばれています。

MAP E-2

みまもり岩

小千谷闘牛場脇に、平成16年10月23日の中越大震災によって二つに割れた大岩があります。地震発生時から命がけで闘牛を守ったとして知られる闘牛会メンバーは、長さ15メートル、最大直径43センチのジャンボ面綱を作り、この岩に掛けました。公募で決まった名前は「みまもり岩」。復興のシンボルとして、地域を見守っています。

MAP E-3

男池・女池

高さ25メートルを超える杉のご神木がある塩谷の仙竜神社の、さらに奥にある男池と女池は、元々ひとつだったのが、山崩れによって二つに分かれてしまったということです。

MAP A-3

馬場清水

昔、時水の山の上に城があり、麓に湧いていたのが馬場清水です。どんな日照りでも枯れることはなかったのですが、冬は深い雪に埋まってしまいます。季節によって使われることから「時水」と呼ばれ、それが土地の名になりました。

MAP E-2

音羽の滝

金倉山にある、夏でも冷たい水が湧いている音羽の滝。澄んだ水にしか生息できないサンショウウオがいるといわれる上質の湧水です。近くには木喰上人の彫像が納められている観音堂もあります。

船岡公園　MAP B–3

市街地を見下ろす船岡公園で夜になるとライトアップされる桜は、幻想的。積雪に耐えた桜の強くて優しい姿を鑑賞する市民で賑わいます。

四季を映す、小千谷の山河

繁栄と悲劇を見つめてきた大河と山々、
季節や時間、微妙な天候によって、違う表情を見せてくれる。

おぢや佳景 其の一

池ヶ原　MAP B–4

昭和46年の開拓事業の完成により、水のなかった信濃川左岸側の段丘がどこまでも広がる美田に生まれ変わりました。

山本山高原　MAP C–4

標高336メートルの山本山の頂上が山本山高原。越後三山、晴れた日には会津の山並み、眼下に壮大な流れの信濃川を望むことができます。夏の濃い緑、冬の静かな雪が、小千谷を彩っています。

塩殿地区・立野原　MAP D–4

魚野川が信濃川に流れ込む手前の塩殿地区立野原は、複雑な河道が印象的な景勝地。峻嶮な越後三山が前に見えるため、上流に向かって流れているような感覚になります。

西山山系　MAP A–3

小千谷市西部と長岡市小国地域との境界に位置する山々の総称。その中のひとつ城山には昔、時水城があり、麓の馬場清水は「飲めば何でも治る」と言われ、今も大切に守られています。

山本山のそばの花

MAP C–4

ゆるやかな斜面は、春の菜の花、夏のひまわり、秋のそばの花と四季折々の花畑が広がる。9月～11月はワシタカ類の渡り鳥の観察も行われ、市内外から多くの人が訪れる人気の観光スポット。

山脈が終わる地の山々

おぢや佳景 其の二

小千谷市は魚沼の険しい山脈の裾野がのびて、平野に届いた所。
ここから広大な新潟平野に続く平野が始まる。
眼下の里からは、昔々の機織りの音が今にも聞こえてきそう。

東山地区の養鯉池

東山地区に点在する静かな山の野池には、「泳ぐ宝石」錦鯉が育てられています。夕焼けが野池に映る様もまた小千谷の自慢の景観のひとつ。

金倉山　MAP E–1

標高581メートル小千谷市の最高峰金倉山は、峰々に神様の名前がついていたという霊峰で、滝沢馬琴「南総里見八犬伝」の小千谷を舞台にした越後物語に登場する。越後平野、棚田、錦鯉の野池が一望できる。

MAP C-4

～ふるさとを愛した詩人～

西脇順三郎は1894年に小千谷で生まれた文学博士・詩人です。慶應義塾大学理財科を卒業後、イギリス、パリなどを巡り、多数の作品を発表、ノーベル文学賞候補に4回なるなど、文壇に大きな影響を与えました。1964年には小千谷市名誉市民となり、1971年には文化功労者に選ばれています。余生を故郷でと願い、1982年6月小千谷で88歳の生涯を終えたのです。

偉人をめぐる 1

ゆっくり、のんびり、しっとり おぢや路

小千谷偉人伝

文学界を変えた熱き文学者 西脇順三郎

小千谷市は、古くから教育文化に熱心な土地柄で、日本最初の公立小学校が小千谷小学校であり、物理学者　広川晴軒、軍医制度を確立した石黒忠悳など、偉業と共にその人柄も語り継がれている名士の出身地です。

西脇順三郎　略年譜

1894年（明治27年）		1月20日、小千谷に生まれる
1911年（明治44年）	17歳	旧制小千谷中学校（現小千谷高等学校）卒業。画家を志し上京するが、父が亡くなり断念。生涯絵画に親しむ
1912年（明治45年）	18歳	慶應義塾大学理財科予科入学
1914年（大正3年）	20歳	慶應義塾大学理財科入学
1920年（大正9年）	26歳	萩原朔太郎の詩集『月に吠える』の口語自由詩に強い衝撃を受け、日本語による詩作を決意
1923年（大正12年）	29歳	オックスフォード大学ニュー・カレッジ入学。古代中世英語英文学を学ぶ
1924年（大正13年）	30歳	パリに旅行し、フランス印象派絵画に接する。英国人画家マージョリ・ピドルと結婚
1925年（大正14年）	31歳	英文詩集『Spectrum』を自費出版
1929年（昭和4年）	35歳	『超現実主義詩論』刊
1932年（昭和7年）	38歳	マージョリと離婚。桑山冴子と結婚
1933年（昭和8年）	39歳	詩集『Ambarvalia』刊
1947年（昭和22年）	53歳	『あむばるわりあ』、『旅人かへらず』刊
1949年（昭和24年）	55歳	『古代文学序説』により文学博士の学位を受ける
1957年（昭和32年）	63歳	詩集『第三の神話』により読売文学賞を受ける
1962年（昭和37年）	68歳	慶應義塾大学名誉教授となる。日本現代詩人会会長となる
1964年（昭和39年）	70歳	小千谷市名誉市民となる
1971年（昭和46年）	77歳	文化功労者に選ばれる
1978年（昭和53年）	84歳	小千谷市立図書館開館と同時に館内に「西脇順三郎記念室」を開設
1979年（昭和54年）	85歳	最後の詩集『人類』刊
1982年（昭和57年）	88歳	療養のため帰郷。6月5日、小千谷総合病院にて死去。6月15日、市民葬
1985年（昭和60年）		小千谷市内の山本山山頂に詩碑建立
1994年（平成6年）		小千谷市をはじめ、各地で生誕百年記念行事が開催される

西脇順三郎記念室

Data お問い合わせ／小千谷市立図書館　tel.0258-82-2724　MAP B-3

もっと!おぢや。ここで暮らそう!!

滞在型農園クラインガルテン「ふれあいの里」

ふれあいの里キャラクター：すいせんちゃん

憧れていても、なかなか実現できないのが「田舎暮らし」。山本山高原中腹に位置する素晴らしいロケーションに加え、地元民との温かな交流があること、何より気軽に始められるとあって、ここ「おぢやクラインガルテン　ふれあいの里」での田舎暮らしは、なかなか盛況です。「ラウベ」と呼ばれる簡易宿泊施設があり、週末だけあるいは長期滞在というスタイルで自然にふれながら田舎暮らしが体験できる滞在型農園や、畑だけを借りられる日帰り型農園もあります。農機具の貸し出しもあり、農業経験がなくても、地元農家の方から教えてもらえるので安心です。

簡易宿泊施設は、キッチン、バス、トイレ、ロフト、エアコン、農機具収納スペース付きで延床面積約40㎡。農地は200㎡あります。日帰り農園は一区画あたり50㎡になります。

農をめぐる 2

ゆっくり、のんびり、しっとり おぢや路

Data お問い合わせ／おぢやクラインガルテン ふれあいの里　tel&fax.0258-83-1722　MAP C-4
小千谷市農林課　tel.0258-83-3510

開放感たっぷりの露天風呂からは、
小千谷の市街地が望めます。

展望露天風呂

縮の湯（洋風）

紬の湯（和風）

名湯、とろ～り。

おぢや路のしめくくり
日帰り温泉　湯どころ「ちぢみの里」

道の駅にある温泉。男女別の2つの大浴場とそれぞれに露天風呂、サウナ、ジャグジーがついています。岩盤浴もあるので、疲れはしっかり汗に流しましょう。広い館内は大広間やムービールーム、名物小千谷そばをはじめ、メニュー豊富な食堂があります。

ちぢみの里弁当
（写真のそばは5人前）

ムービールーム

湯をめぐる 3
ゆっくり、のんびり、しっとり
おぢや路

遊び疲れた後は、とろりとしたお湯に和む。

隣接する恐竜公園には、恐竜を模した遊具やすべり台などがあります。

■泉質／ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）
■効能／神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病

Data お問い合わせ／tel.0258-81-1717　営業時間／10:00～22:00（食堂は20時まで）
休館日／毎週水曜日（祝日の場合は営業）、1月1日、12月31日　MAP C-3

新潟県中越大震災の伝承と防災学習拠点施設

中越メモリアル回廊
The CHUETSU Earthquake Memorial Corridor

おぢや震災ミュージアム
Ojiya Earthquake Disaster Museum

そなえ館

入館無料

平成16年10月23日午後5時56分、中越地方を震源としたマグニチュード6.8、震源の深さ13kmの直下型地震が発生しました。かけがえのない命を奪われ、美しい故郷の景色を一変させた大地震でした。この震災を忘れず、教訓を後世に残すために、小千谷・長岡市内の7つの拠点を中心とした「中越メモリアル回廊」があります。
小千谷市の拠点は震災ミュージアム「そなえ館」。地震発生から復興までを時系列で展示・体験できる施設です。団体向けの防災学習体験プログラム（要予約5名以上）では被災体験談を聞くこともできます。

Data お問い合わせ／tel.0258-89-7480　MAP B-3
営業時間／9:00～17:00　休館日／毎週水曜日
（祝日の場合は、休日以外の翌日）、1月1日～3日、12月29日～31日

地震と小千谷の人情

織物・錦鯉・花火・牛の角突きは、長く守り育んできた、ここで暮らす人の絆の証し。震災後、住む家もままならない中、ひと月遅れとはいえ例年通り「牛の角突き」を開催した‘地域の結束’こそ、復興を目指す心の糧だったといえます。2011年3月11日に起った東日本大震災は、小千谷の人々にとって他人事ではありませんでした。全国的にも珍しい民泊を提案する市の呼びかけに応え、289軒の家々で被災者（1230人）を迎え入れる準備が整ったのです。その後も、地域ごとに避難場所を割り振るなど、被災者の気持ちを優先させた対策を取っています。恩返しの気持ちに加え、常に人と支えあって生きてきた小千谷人の気質と風土もまた、小千谷の魅力のひとつです。

【魚沼産コシヒカリ】
雪どけ水が流れ込む田んぼで、大事にだいじに育てた、美味しいお米。

【味噌・しょうゆ】
「和食」に欠かせない、国内産原料にこだわった職人が守る伝統の味わい。

【小千谷のお菓子】

米どころは、味どころ。お土産に最適な、米菓や小千谷名物をモチーフにした可愛らしい和菓子が揃っています。

【銘菓各種】
小千谷市民なら誰もが知っている伝統の和菓子は、お土産に最適です。

【ちぢみ煎餅】
独特のシボ（シワ）が特徴的な小千谷縮の布肌をヒントに焼き上げました。

【玉花火】
花火玉に見立てたボンボン羊羹は、本物の5号玉の玉皮に詰められています。

味をめぐる 4
ゆっくり、のんびり、しっとり
おぢや路

【豆菓子】
丁寧に煎り上げて素材を生かした大豆や、あられの素朴な味わいが人気。

【米菓】
'米菓産業発祥の地' 小千谷のお煎餅あられの味は、もちろん格別な本物の味わい。

Data お問い合わせ／おみやげ・お食事処サンプラザ　tel.0258-83-4800
MAP B−3

【小千谷そば】
織物の糊付けに使う
海藻（ふのり）をつなぎにした、
なめらかで独特のコシの強さが特徴。
地方発送も可能です。

小千谷そばを味わえるそば屋は市内各所にあります。こしが強く、へぎという器に美しく盛られた小千谷そばをご賞味ください。

そば店舗一覧

岩藤屋（湯どころ ちぢみの里内）	tel.0258-82-2673	そば処徳七	tel.0258-82-5076
小千谷そば和田	tel.0258-83-3283	須坂屋	tel.0258-82-3295
わたや本店	tel.0258-82-2258	そば処やまぐち	tel.0258-82-0882
わたや平沢店	tel.0258-83-0588	雪蔵の里	tel.0258-81-7811
角屋サンプラザ店	tel.0258-83-4648	まるいち	tel.0258-86-3037
小千谷そば角屋本店	tel.0258-83-2234		
福桝	tel.0258-82-2624		

<冷凍生麺「小千谷ふるさとそば」>
<冷蔵生麺「小千谷そば」>　<乾麺「小千谷そば」>

小千谷の逸品

真っ正直な味

贈られる人も贈る人も嬉しくなる、
澄んだ水と空気から生まれた滋味豊かな小千谷の味。

【さつまいもプリン】
農業をやりたいと願った女性が、小千谷に嫁いで夢をかなえました。農閑期を利用して、みんなで作るさつまいもプリンは今や大人気商品。

【日本酒】
織物を求めて全国から集まる人々も、小千谷の日本酒を楽しみにしていたことでしょう。その美味さは輝かしい受賞歴が物語っています。

【餅・笹だんご】
新潟名物として知られる笹だんごと餅。厳選したもち米で、まごころを込めて作っています。

小千谷の特産品

伝統を織り続ける

小千谷縮 ― 小千谷紬 ― 片貝木綿

江戸時代初期の寛文年間（1661年頃）に、播州明石の浪人、堀次郎将俊が小千谷に来住し、当地で織られていた「越後布」に改良を加えました。独特のシボ（シワ）を作りだし、また、絣（かすり）や縞（しま）を織りだすことも考案され「小千谷縮」ができあがったとされています。江戸時代中期には、独特の光沢をもつ絹織物「小千谷紬」も織られるようになりました。

【重要無形文化財小千谷縮】
手績みの糸を使用し、いざり機で織るなど、継承され続ける古来の技法により製作されています。その技術はユネスコ無形文化遺産に登録されています。

【小千谷縮・小千谷紬】
夏着物の憧れ小千谷縮。薄く織りあげた麻質感が夏を涼しく彩ります。小千谷紬は縮の技法を生かした絹織物で、なめらかな光沢と柔らかさが特徴です。

【片貝木綿】
肌にまとわりつかないよう糸に太細をつけ使い込むほどに肌に馴染む織物です。

経済大臣指定伝統的工芸品
TA313590

小千谷縮	昭和30年／国の重要無形文化財に指定
	昭和50年／伝統的工芸品に指定
	平成21年／ユネスコ無形文化遺産に登録
小千谷紬	昭和50年／伝統的工芸品に指定

技をめぐる 5
ゆっくり、のんびり、しっとり
おぢや路

<匠之座>
和装商品、ファッションブランド「Free From」製品や、インテリア、テーブルウェアなど小千谷縮・小千谷紬・片貝木綿で作られた商品を販売している。

<織之座>
昔ながらの機織り機の展示と歴史や技術にふれることができる工房では、実演の他、体験も可能。

Data お問い合わせ先／小千谷織物工房「匠之座」「織之座」（サンプラザ内） tel.0258-83-2329
（小千谷織物同業協同組合） MAP B–3

Free From

本物を知る、大人の装い Free From

さらりと馴染む小千谷縮がファッション性の高い洋服になりました。
通気性に優れた天然の麻素材は夏の装いやクールビズにぴったりです。
小千谷産地の新たな未来を創るという情熱と高度な技が、
さまざまな風合いの布を生み出しています。

【小千谷縮ジャケット・シャツ】
麻のシャリ感と上品なつやがワンランク上のお洒落を演出します。

【小千谷縮帽子】
軽くて爽快感抜群の被り心地。

素朴ながら品の良さが溢れ出る小物類。

【反物】丹精込めて織り上げられた格調高い織物。
麻や絹の風合いの良さが親しまれています。

イベント・見ごろ・食べごろカレンダー

季節や時間によって違う風景、特色ある伝統行事や人気のイベントに加え、
旬の食べ物や花の見頃をカレンダーにしました。
何度訪れても魅力のつきない小千谷を体験してみてください!

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

◎行事・イベント◎

- 1月 さいの神
- 2月 ほんやら洞まつり
- 3月 おぢや風船一揆
- 4月 信濃川河岸段丘ウォーク
- 5月 船岡公園まつり
- 5月 牛の角突き（11月まで毎月開催）
- 7月 二荒神社祭礼
- 8月 おぢやまつり
- 9月 明石堂祭礼
- 9月 片貝まつり（花火）
- 10月 全国農林水産祭参加
- 10月 新潟県錦鯉品評会

◎見ごろ◎

- 雪の川景色（山本山高原）
- 縮の雪さらし
- スイセン
- 桜（船岡公園ほか）
- カタクリの花（城山）
- 水芭蕉群生（大崩）
- 菜の花畑（山本山高原）※
- 外之沢棚田（岩沢）
- 東山地区養鯉池
- ひまわり畑（山本山高原）※
- そば畑（山本山高原）
- はざ木
- 外之沢棚田（岩沢）

◎食べごろ◎

- のっぺい汁
- 人参
- さつまいもプリン
- 山菜（ふきのとう、山ウド、こごみなど）
- すいか
- メロン
- かぐら南蛮
- カリフラワー（11月上旬まで）
- 新米
- さつまいもプリン（3月まで）
- サツマイモ
- 新そば
- 餅
- 人参（3月上旬まで）
- 日本酒新酒

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

※山本山高原の「菜の花畑」と「ひまわり畑」は隔年になります。それぞれの年の美しさをお楽しみください。

長く豊かな歴史と、厳しく美しい自然が織りなす雪の町、お気に入りにきっと出会えます

小千谷カントリークラブ
信濃川を見下ろし、越後連山を望む大自然に囲まれたゴルフ場。長岡市境の丘陵の地形を生かした手強いコースで人気です。

MAP A-2

サンプラザ
お土産、特産、観光など、小千谷の事ならすべて揃う、観光の拠点。織物体験や食事も楽しめます。市街地にあり、広い駐車場があるので便利。

MAP B-3

錦鯉の里
サンプラザに隣接し、自然石を配した見事な日本庭園で約40種の錦鯉を鑑賞できます。間近でえさを与えることもできます。

MAP B-3

船岡公園・西軍墓地
4月上旬からぼんぼりが灯り、夜桜が楽しめます。越後三山や信濃川が一望できる公園頂上には、北越戊辰戦争の新政府軍犠牲者が手厚く葬られています。

MAP B-3

そなえ館・楽集館
地震の防災意識を学ぶそなえ館では、中越地震の揺れを体感できるコーナーもあります。同じ館内には、市民の文化活動拠点として利用される楽集館があります。

MAP B-3

牛の角突き
「ヨシタ!」のかけ声とともにぶつかりあう闘牛、取り押さえる勢子の妙技に歓声が沸き起こる。江戸時代のベストセラー「南総里見八犬伝」にも登場する伝統行事です。

MAP E-2

お問い合わせ一覧　楽しい旅にお役立てください。

⊙お問い合わせ

小千谷市観光案内所
おみやげ・お食事処 サンプラザ
〒947-0028 新潟県小千谷市城内1丁目8番25号
TEL 0258-83-4800
FAX 0258-82-1330
メール　info@ojiyasunplaza.jp
http://www.ojiyasunplaza.jp

小千谷織物工房「織之座」「匠之座」
TEL 0258-83-2329
FAX 0258-83-2328
メール ojiya-ori@carrot.ocn.ne.jp
http://www.ojiya.or.jp

錦鯉の里
〒947-0028 新潟県小千谷市城内1丁目8番22号
TEL 0258-83-2233
FAX 0258-83-2233
メール　nishikigoi@ojiyasunplaza.jp
http://www.ojiyasunplaza.jp/nishikikoi

小千谷市地域間交流センター
湯どころ　ちぢみの里
〒947-0003 新潟県小千谷市大字藤生甲1670-1
TEL 0258-81-1717
FAX 0258-83-0311
メール　info@chijiminosato-nsd.com
http://www.chijiminosato-nsd.com

小千谷市商工観光課／小千谷観光協会
〒947-8501 新潟県小千谷市城内2丁目7番5号
TEL 0258-83-3512
FAX 0258-83-0871

小千谷市商工観光課
メール　kanko@city.ojiya.niigata.jp
http://www.city.ojiya.niigata.jp

小千谷観光協会
メール info@ojiyakanko.com
http://www.ojiyakanko.com

おぢや観光ボランティアガイド
〒947-8501 新潟県小千谷市城内2丁目7番5号
TEL 0258-83-3512
FAX 0258-83-0871
メール　info@ojiyakanko.com
http://www.ojiyakanko.com

⊙交通関連

電車

JR小千谷駅	TEL0258-82-2261

タクシー

中央タクシー株式会社	TEL0258-82-4345
タクシーセンターおぢや	TEL0258-82-2121

観光バス

小千谷観光バス株式会社	TEL0258-82-0244

⊙宿泊施設

市街地

ホテル千景	TEL0258-82-5651
ホテルプラザ片山	TEL0258-82-2051
ビジネスホテル ニュープラザ	TEL0258-82-1185
ビジネスホテル 小千谷パーク	TEL0258-82-0089
旅館 魚伝	TEL0258-82-2031
旅館 みや	TEL0258-82-4581
旅館 川岸屋	TEL0258-82-2161

市街地周辺

木津 上の湯	TEL0258-82-4838
龍の湯	TEL0258-82-1807
民宿 まるいち	TEL0258-86-3037
小千谷ふるさとの丘 ユースホステル	TEL0258-59-2951
農家民宿 弥ぜん	TEL0258-59-3391
農家民宿 新助	TEL0258-59-2779
農家民宿 峠乃茶屋	TEL0258-82-7009
農家民宿 おっこの木	TEL0258-86-7998

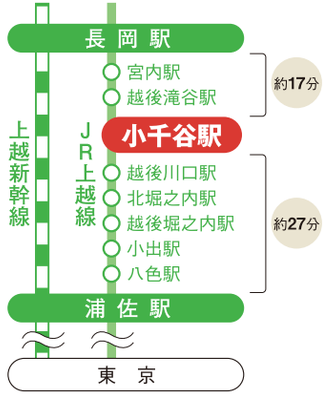
交通案内　電車も車もアクセスらくらく。

⊙上越新幹線を利用した場合

東京から上越新幹線・JR上越線
（長岡駅乗換）で**約2時間**

新潟から上越新幹線・JR上越線
（長岡駅乗換）で**約40分**

※乗り換えに要する時間、電車の待ち時間は含んでいません。



⊙高速道路を利用した場合

練馬I.Cから
関越自動車道で**約2時間30分**

高崎I.Cから
関越自動車道で**約1時間30分**

新潟西I.Cから
北陸、関越自動車道で**約50分**

上越I.Cから
北陸、関越自動車道で**約40分**

訪れるたびに新しい発見。なんどで　もおいでください、越後おぢや路。